

名古屋市立南陵小学校での出前講座実施報告書

1) 講座の様子

10月4日(火)に名古屋市立南陵小学校、4年生3クラス(合計87名)を対象に、名古屋自然保護官事務所の職員が出前講座を実施しました。

この出前講座は、総合学習の時間を活用し、「藤前干潟の生きものと歴史を知ろう!」というテーマで1クラス毎に講座をしました。

講座の始めに藤前干潟の場所や干潟の成り立ちをクイズ形式で学んだ後、6班に分かれてヤマトシジミ(以下、シジミ)を使った水の浄化実験を行いました。実験結果を待つ時間を利用して、結果を各班で予想してもらったり、シジミの他にも多くの生きものが干潟にすんでいることを紹介しました。その後、盛んに漁も行われていた藤前干潟の過去や干潟の埋立て問題のほか、現在の課題として漂着ゴミについて紹介しました。近年注目されているマイクロプラスチックについても取り上げたところ、生徒達は真剣な表情で話を聞き、メモをとっていました。最後にシジミ実験の結果を確認し、水に入れたシジミが動くところや、透明になった水を観察し、生徒達は生きた貝の浄化能力に驚いていました。

講座を通して、干潟の働きや生きものだけでなく、ゴミなどの問題点に対しても1人1人が真剣に向き合う姿が見られました。今後の学習の中で自然環境だけでなく現在どのような問題があるのかにも目を向けて学んでいって欲しいと思います。

2) 講座の内容

テーマ：藤前干潟の生きものと歴史を知ろう!

1. 干潟ってどんなところ?
2. どんな「生きもの」がいるの?
シジミの浄化実験(各クラス6班で実施)
3. 藤前干潟の「過去」と「今」
保全されるまでの歴史を紹介
漂着ゴミ問題(マイクロプラスチック含)



* 出前講座の様子



* シジミの浄化実験の様子

3) 実施概要

実施日：平成28年10月4日(火)

9:45~12:30(1限毎、1クラスずつ実施)

場所：名古屋市立南陵小学校(緑区)

対象：小学校4年生(3クラス、87名)

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

出前講座については、名古屋自然保護官事務所(TEL: 052-389-2877)までお問い合わせください。

2016年10月11日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 西部理恵

